

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年7月17日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (7/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	25.6	1.1 kPa g	A系： 0.00 vol%	B系： 0.00 vol%
		給水系：約2.4 m <sup>3</sup> /h				
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h	31.7	4.81 kPa g	A系： 0.02 vol%	B系： 0.02 vol%
		給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h				
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h	29.2	0.25 kPa g	A系： 0.04 vol%	B系： 0.05 vol%
		給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h				

## <2. 使用済燃料プールの状況> (7/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	29.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.2 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	26.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	- 1 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘイドラジンの注入を適宜実施。

※1 作業に伴いデータ欠測

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/7 15:02~7/17 10:43 移送実施
			集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	7/17 10:43~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	7/17 11:26~ 移送実施中

## <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (7/17 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <5. その他>

・2014/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。

・2015/7/17 3:27 頃、汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置 3-3)において、漏えい検知器が動作したため、現場を確認したところ、同日午前3時48分に同装置の高圧ポンプと配管の接続部から、水が漏えいしていることを当社社員が確認。同日午前3時50分、同装置を停止。なお、装置内の残圧により鉛筆芯2本程度で漏えいは継続していたが、同日午前4時30分に漏えいが停止したことを確認。

漏えい範囲は、約 20m×10m。漏えいした水については、同装置に設置されている堰内に留まっていることから、外部への影響はない。漏えいした水については、吸着材にて漏えい拡大防止措置を実施し、同日午前

10時20分から午後2時20分、パワープロベスター（バキューム車）による水の回収を実施。現在、原因については調査を実施中。

なお、漏えい水の放射能分析結果は以下の通り。

<漏えい水放射能分析結果>

- ・セシウム 134  $8.0 \times 10^2$  Bq/L
- ・セシウム 137  $3.1 \times 10^3$  Bq/L
- ・コバルト 60  $6.6 \times 10^1$  Bq/L
- ・全ベータ  $6.3 \times 10^4$  Bq/L

#### **【1号機原子炉建屋カバー解体作業】**

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体工事に向けて準備工事を開始。  
5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、  
ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- ・2015/7/17 7:06～ 屋根貫通飛散防止剤散布を実施中。

#### **【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】**

- 【2号機】・2015/2/24 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業開始。  
6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 4,500m<sup>3</sup>の除去完了。  
7/10 海水配管トレンチ内の充填完了。
- 【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。  
6/12～ 当該作業に伴う海水配管トレンチ内の滞留水については、塩分濃度等を考慮しつつタービン建屋へ排水しているが、タービン建屋滞留水の塩分濃度が上昇した場合、汚染水処理に影響を及ぼすことが考えられるため、一時貯留先として1号機復水貯蔵タンク（以下、「1号機CST」という。）へ滞留水の受け入れを行う。その事前準備として、受け入れ可能な容量を確保する目的で、1号機CSTに貯留されている汚染水を1号機廃棄物処理建屋へ移送を行う。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

#### **【地下水バイパス揚水井の状況】**

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス揚水井 No.10 については、6/29 に採水した水の分析結果において、トリチウム濃度が運用目標値の 1,500 Bq/L であることを確認したことから、当該揚水井の汲み上げを6/30 に停止。今後、地下水バイパス一時貯留タンク内の評価を行う。

#### **【1～3号機放水路の状況】**

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### **【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】**

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・7/16 採取した水の分析結果が前日の分析結果よりも上昇。強い降雨の影響により一時的に上昇したものであると判断。また、港湾口連続モニタの値については、有意な変動は確認されていない。引き続き、監視を継続していく。  
なお、K排水路の排水については、同排水路内に堰を設けて、移送ポンプを設置し港湾内に繋がるC排水路へ移送しているが、本日 8:24 頃、移送ポンプは全台正常に稼働しているものの、移送ポンプの移送量を超える強い降雨の影響により、K排水路に設置した堰から外洋側にも一部排水されていることを確認。
- ・7/16 20:10 頃、稼働していた8台（全台数）の移送ポンプが6台に切り替わったことから、この時間に一部排水が停止し、通常の排水状態に戻ったものと考えている。

#### **【H4,H6エリアタンク周辺観測孔（周辺排水路含む）の状況、タンクパトロール結果関連】**

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・切替C排水路 35m盤出口（C-2-1）のセシウム 137 の値が、7/15 に採取した検出限界値（2.1Bq/L）未満から 23 Bq/L に上昇していることを確認。また、構内側溝排水放射線モニタ近傍のセシウム 137 についても7/15 に採取した検出限界値（3.3Bq/L）から 17 Bq/L に上昇していること、および全ベータの値についても検出限界値（4.6 Bq/L）から 51 Bq/L に上昇していることを確認したが、7/16 日の強い降雨の影響により上昇したのと考えている。

なお、7/16 8:24 頃に確認されたK排水路内の水が堰から外洋側にも一部排水された事象に鑑み、環境への影響について確認するため、同日 9:50 に採取した、南放水口付近海水(排水路出口付近) (T-2)のセシウム134、セシウム137 および全ベータの値については、堰から外洋側に一部排水される前の7:15 に採取した値と比較し有意な変動は確認されていない。

その他の採取した測定結果は前回と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】**

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上